

2月28日と3月23日にまた同じ場所を見に行った。死骸はあったが、生きていた個体は見つからなかった。これからも生きていた個体がいなか、キムネクロナガハムシの死骸が増えていないかを調査をしていきたい。

末筆ながら同定いただいた森 正人氏, ご協力いただいた山本紘子氏(箕面公園昆虫館)に厚くお礼申し上げます。

○引用文献

尾園 暁, 2020. ハムシハンドブック. 文一総合出版, 104pp.

(Haruki KUSUMOTO 兵庫県明石市)

姫路市でコガタノゲンゴロウを採集

楠本悠貴

2025年10月5日に姫路市でコガタノゲンゴロウを採集した。公園の池で水生昆虫を探していたらコガタノゲンゴロウが泳いでいた。網で捕まえて、まだいなか確かめたが1個体しかいなかった。

森 正人氏が書いた兵庫県のゲンゴロウ類目録 (2) (森, 2025) には姫路市の記録がないので報告する。

末筆ながら文章を見ていただいた森正人氏に厚くお礼申し上げます。

○引用文献

森 正人, 2025. 兵庫県のゲンゴロウ類目録 (2) . きべりはむし, 48 (2) : 1-14.

(Haruki KUSUMOTO 兵庫県明石市)



図. 姫路市で採集されたコガタノゲンゴロウ.

美方郡新温泉町でミズスマシを確認

泉山真寛

ミズスマシ *Gyrinus japonicus* は、全国的に個体数が急激に減少しており、環境省レッドリストでは絶滅危惧Ⅱ類 (VU) に選定されている。また、兵庫県版レッドリスト 2022 (昆虫類) ではBランクに位置づけられている。Bランクは、環境省レッドリストにおける絶滅危惧Ⅱ類に相当し、県内において絶滅の危険が増大している種、または生息環境・自生地等の保全が強く求められる種とされる。

本種は過去に新温泉町で記録があるものの、その後の新たな記録や生息情報は乏しく、生息地の減少も懸念されている。したがって、県内における本種の生息状況を把握し、生息地の確認と保全を進めることは重要である。

2026年5月上旬の調査において、少なくとも7個体のミズスマシを確認し (図1) 採集した後、リリースした。希少種であるため詳細な地点情報は控えるが、今回確認した水域は、水田地帯に位置し、山間部からの流水が流入する透明度の高いため池であった (図2)。水深は70 cm以上あり、水域全体が澄み渡っていた。

○引用文献

兵庫県版レッドリスト 2022 (昆虫類). https://www.kankyo.pref.hyogo.lg.jp/jp/environment/leg_240/leg_289/2022 (最終閲覧: 2026年5月).

(Masahiro IZUMIYAMA 兵庫県養父市)



図1. 新温泉町産ミズスマシ.



図2. 確認されたため池.